

祝 秋の叙勲

# 瑞宝単光章

消防功勞



規律厳正を信条に  
地域の安全を守り続ける

さとう まこと  
佐藤 誠 さん (82歳)  
=永沢島の海上=

元金ヶ崎町消防団分団長。高校を卒業後、家業の農業に就く。昭和38年6月～平成11年3月までの35年9カ月、町消防団で活躍。趣味は農業とゲートボール。家族と5人暮らし。

消防団での経験を「人間形成の場だった」と話す誠さんは、昭和38年6月に金ヶ崎町消防団に入団した。

高校卒業後、家業の農業に従事していたが、20歳を過ぎた頃に近所の人に勧められて消防団に入団した。

入団後は「規律厳正」を信条とし、火災発生時は農業を中断して消火最優先に活動してきた。消防団では人との付き合い方など先輩から教わることも多く、「消防団での活動が好きだから続けてこれた」という。

35年9カ月の団員生活で特に印象に残っているのは、昭和63年の集中豪雨のとき。当時、第2分団副分団長だった誠さんは、地域住民を守るため昼夜を問わず駆け回り、堤防などのパトロールを行った。

消防団員として使命感を持ち続けて活動してきた誠さん。団の運営では、常に他の模範となる団員になるよう指導を心がけてきた。

近年、全国的に自然災害が多いが、「金ヶ崎は河川が多いので皆さんも自分の命を守るために日頃から注意してほしい」と話す。

「受章の実感がまだ湧かない」と笑顔で話す誠さん。昭和40年に結婚してからそばで支えてきた妻のノブ子さんには、「妻にこそ叙勲をあげたい気持ち」と話す。農業が忙しくても消防団の活動を支えてくれた内助の功の妻には、感謝してもしきれないという。

## 広報日記



いよいよ寒さが厳しくなり、町内でも雪が降りました。乾燥する時期ですが、皆さんは体調を崩していないでしょうか。私はこたつを出して寒さ対策万全!...のはずでしたが、夕飯を食べるといつもこたつで寝てしまいます...。皆さんはこたつの誘惑にどのようになり勝ちますか？さて、今月は「50年」のお祝いをいくつか取材させていただきました。私50年続けられることを見つけていきたいと思えます。(村口)

金ヶ崎町  
プロモーション動画  
配信中!!

人口と世帯		10月31日現在	
		※( )内は前月比	
人口	15,569人	(-11)	
男	7,984人	(-3)	
女	7,585人	(-8)	
世帯数	6,178世帯	(+1)	

